

京都府国民健康保険運営方針―皆で支える京都あんしん国保プラン―(中間案)に対する意見募集の結果について

令和2年12月22日  
健康福祉部医療保険政策課

- 1 意見募集期間 令和2年10月7日(水)～令和2年10月28日(水)  
2 意見募集結果 6項目(6個人)  
3 御意見の趣旨及びそれに対する京都府の考え方

	御意見の趣旨	京都府の考え方
1	還暦を目前にし、持病もあり健康に不安をかかえて生活する中、保険制度が整っていることは大変ありがたく思う。 今後も、誰もが公平で安心して医療を受けられるよう、制度の充実を望む。	府民が安心して医療を受けることができるよう、市町村とともに、国民皆保険制度を支える国保の安定した運営に努めてまいります。
2	保険料の統一が記載されているが、今後、保険料がどうなっていくのかが気になる。みんなで支え合うというのは大事だと思うが、高齢化や医療技術の進歩もあり、医療費が増える中、中間所得層への配慮もお願いしたい。	保険料水準の統一については、市町村ごとの医療費水準や保険料水準に差があることに留意しつつ、今後、市町村と課題等の整理を行うこととしています。 また、この間、保険料の賦課限度額の引上げを行うことにより、中間所得層に配慮した保険料設定を行ってきているところです。
3	保険料の納付について、地域や個人の実情に合わせて、窓口やコンビニでの収納、キャッシュレス決済等の導入を検討していただけるとありがたい。	引き続き、ペイジー口座振替受付サービスの導入促進を図るとともに、各市町村において、地域の実情に応じてキャッシュレス決済の導入可否を検討するなど、被保険者の方々の納付機会の拡大や利便性の向上に努めてまいります。
4	現在、新型コロナウイルス感染症の予防のため、多くの方がマスクの着用や手洗いなどを心がけている。それと同じように、健康面でも、食事や運動などそれぞれが気をつけるようにしていけば、病気になるリスクも減り、医療費もかからなくて済むのではないかな。	国保の安定運営を図る上では、保健事業の充実を図り、健康寿命の延伸に繋げていくことが重要であることから、市町村をはじめとした各保険者や関係団体と連携し、予防・健康づくりを推進してまいります。
5	「未病」については、全てのライフステージに応じた取組や支援(知ってもらうこと)が大切なことだと思う。 諸機関とも連携し、分かりやすく、いろいろな年齢の方々が知ることができ、意識したり参加できるような広告をお願いしたい。	予防・健康づくりの推進について、市町村をはじめとした各保険者や関係団体と連携し、分かりやすく、幅広い世代の方に参加していただけるよう、広報事業の充実を図ってまいります。
6	インターネットで診察の予約ができたり、オンライン診療やオンライン資格確認など、簡単便利な社会になるのはよいが、個人情報だけはしっかりと守ってほしい。	国保の運営に当たっては、今後も個人情報保護の徹底を図ってまいります。